

活動レポート

倫理委員会

文責：倫理委員会幹事長 佐々木裕之

平成29年度第4回、第5回研究WG活動報告

はじめに

倫理委員会では、平成29年10月10日(火)に平成29年度第4回研究WG(出席者16名)を(株)ドーコン会議室にて、平成29年12月13日(水)に第5回研究WG(出席者17名)を(株)ドーコン会議室において開催いたしましたので、これらについて報告いたします。

1. 平成29年度第4回研究WG

(1) 旭川高専共同授業について

過年度に引き続き今年度も12/4、12/18、1/15の3回に亘り旭川高専で技術者倫理の授業を実施いたします。授業時間は約3時間で、講義・事例説明に約40分、4班に分かれてのグループディスカッションに約1時間20分、発表時間・質疑応答に約1時間程度となっています。講義テーマ、授業の進め方は各班で事前に打合せ等を行い、授業に臨みます。

(2) 事例研究その7(Well-being～技術者倫理教育の教材試案として～)

前回定例会では題材事例に「日露戦争時の森鷗外と高木兼寛の脚気をめぐる論争」を採用していましたが、委員から「軍隊・戦争に関する内容を倫理的な事例として取りあげるに抵抗がある…」との意見があったことから、題材事例が「三菱自動車のリコール隠し問題」に変更がなされました。また、定例会に先立って開催された幹事会において、志向倫理に関する題材事例を創作することがかなり難しい作業であるのと同時に学生とのグループディスカッションの題材としてとりあげると議論をまとめられないだろうとの意見があり、技術者倫理教育の教材試案としてではなく、各企業や団体から依頼される講演会等で発表する講演資料として作成してはどうだろうかとの意見があったため、事例としては残すもの

の、「志向倫理やWell-beingとは何ぞや」といった講演会発表用資料として作成する方向性でとりまとめていく方針であるとの説明がありました。

各委員からは下記のような意見がありました。



写真-1 第4回研究WG 会議状況

- ・余暇の時間が多いということはWell-beingとか幸せに本当に繋がるのだろうか？→技術者と限定してしまえば、そうとも限らないと考えられる
- ・「技術者としてのWell-being」は社会への貢献や寄与であると前半部分で謳っているが、後半では技術者のWell-beingを自分の好きなことだけをしていれば良いといった内容に受け取れるため、技術者の自己満足のような印象を持ってしまう
- ・この内容で学生と議論をしないのであろうか？志向倫理の題材として面白いと思えるのだが…

(3) 片山委員によるミニ講演(小規模地熱発電の現状と課題)

片山委員より「小規模地熱発電の現状と課題」と題したミニ講演が実施され、温泉発電(小規模バイナリー発電)の事例を中心に、片山委員の海外業務経歴での経験談、温泉発電事業を計画する際の課題や北海道で実施する際の検討課題、鉱山や地熱発電と環境問題を技術者倫理的視点から講演を行い、話題

提供をしていただきました。

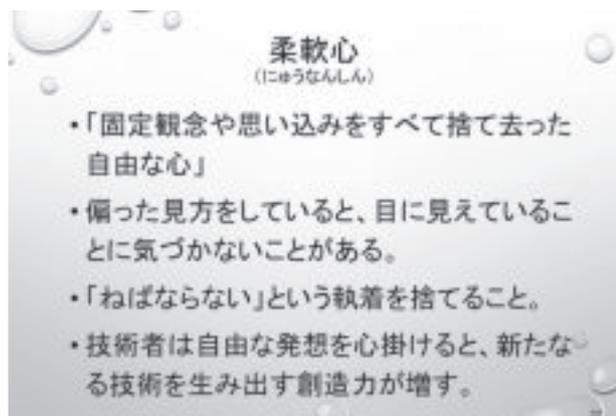
2. 第5回研究WG

(1) 技術士全国大会に関する話題提供

技術士全国大会の技術者倫理情報交換会が10/20に、第3分科会(技術者倫理)が10/21に開催され、日下部委員長、花田相談役が参加して各地方本部の倫理委員会活動等の意見交換等が行われました。

(2) 事例研究その7(Well-being～技術者倫理教育の教材試案として～)総括

前回WGでの議論に基づき、山本幹事より本事例の最終的なとりまとめの説明がありました。前回定例会でも議論されたように、志向倫理については比較的新しい概念で、哲学的な思考でもあるため、WGでは議論しづらい側面があるとの意見があり、事例研究としてではなく、「志向倫理」に関するワーキンググループのようなものを別途立ち上げ、何かしらの成果が出来た段階で定例会にて発表するとの方向性が示され、WGの立ち上げが今後計画されることとなりました。また、日下部委員長から今後のテーマの一つとして「技術者倫理と宗教・偉人の教えや格言の関係について検討整理」したいとの意見があり、山本委員が考えた本事例における格言が最後に記述されておりましたので、以下に記載いたします。



(3) 当麻委員によるミニ講演(構造安定(不安定)問題について)

当麻委員より「構造安定問題について」と題したミニ講演が実施され、構造的な安定・不安定問題において、力の方向と異なる方向に変形が起こることが「技術者の盲点」として考えられることを題材に構造

力学の基本的事項やその解説、昨今事故が起きているジャッキや杭打機の転倒事故に関する原因についての考察や安全に関する事項を技術者倫理と絡めて講演を実施し、話題提供をしていただきました。



写真-2 第5回研究WG 会議状況

3. 旭川高専技術者倫理共同授業

平成29年12月4日(月)に旭川高専で技術者倫理の今年度第1回目の共同授業を実施し、講師として山本幹事、当麻委員、冨澤委員、本橋委員が参加いたしました。講義テーマは「内部告発者(whistle blower)の保護・救済」として、創作事例を用いて学生とグループディスカッションを行いました。過年度と同様に、各グループでは活発な議論が行われ、学生はマインドマップで課題整理を行うなど、とりまとめ方が上手で優秀であったのが印象的でした。



写真-3 12月4日に実施した旭川高専での授業風景

おわりに

倫理委員会では会員を募集しております。倫理委員会のメンバーとの意見交換や交流を通じて、技術者倫理についてさらに深く考えてみませんか? 詳しくは当委員会HPをご確認ください。

次回は、平成30年2月13日(火)に(株)構研エンジニアリング会議室において日下部委員長のミニ講演とその他の討議を予定しています。